

会議状況等報告書

報告者

渡辺 拓也

会議の名称 第1回大府市緑化推進委員会

日時 令和3年5月28日（金）9時00分～

場所 203会議室

出席者

樋口委員、田中委員、櫻井委員、島田委員、酒井委員、服部委員、深谷委員、水谷委員

市長、近藤部長、深谷課長、深谷係長、久納主査、高橋主事、渡辺

内 容

1. 委嘱状交付

2. あいさつ

市長）皆様おはようございます、大府市長の岡村秀人です。

本日は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発せられているところではございますが、本年度第1回の大府市緑化推進委員会にご参加いただき誠にありがとうございます。

また、日頃から本市の緑花事業に対し、それぞれのお立場から御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市は、令和2年度に「大府市緑の基本計画」を改定し、「活かす緑“水”“風”“まち”」をキャッチフレーズとして、緑豊かな暮らしとまちの実現に向けた健康都市のまちづくりを進めております。昨年9月には市の木、市の花として、サクラとツツジを新たに指定したところでございます。また、故近藤慎さんの功績を紹介した、「平成の花咲かじいさん」映像を作成し、市内をサクラでいっぱいにし、自然を育む活動を実施したいと考えております。

さて、本日皆様には緑花推進応援プロジェクトの審査をお願いしたいと思います。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できず、非常に残念でございました。市民団体からご提案頂いた内容からは、今まで以上に緑花に対する強い意気込みを感じておりますので、応募団体の思いを聴いていただき、皆様の様々な経験や取組などの中から感じたことをもとに、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

最後となりますが、委員の皆様を始め、本日ご提案頂いた団体と我々行政が協力して、市民緑化について一つひとつの取組を積み重ねていくことが重要でありますので、皆様には引き続きご尽力賜り、本市が緑あふれる「健康都市おおぶ」として発展することを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

3. 委員長・副委員長の選任

互選により選出

委員長）よろしくお願いいたします。昨年度は、「大府市緑の基本計画」を改訂し、大府市の緑花政策を推進していこうという時期ではありましたが、緑花推進応援プロジェクトの審査も中止となるなど、新型コロナウイルス感染症の影響で緑化推進が非常に難しいものとなりました。市民の皆さんにおきましては、コロナ禍でも緑化のために熱心に活動してくださっている年となりました。委員の皆さんにおかれましては、市民の皆さんが緑花を推進できる体制を応援するという意味で、公平性を担保しながら評価をしていただきたいと思います。我々ができる緑化推進の力添えをしっかりと行っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4. 議題

(1) 緑花推進応援プロジェクトの審査について 事務局から審査の概要を説明

委員長) この緑花推進応援プロジェクトが緑の基本計画にどのように位置づけされているかを、復習も兼ねて再確認したいと思います。42頁、基本目標2の(2)「公共施設緑化の推進」について、48頁に具体的な施策を掲載しています。施策としては「市民協働による緑化推進」、施策の方向性としては「提案型緑花推進事業等の実施により市民との協働で緑化推進を図る」という部分に該当します。そのほかにも基本目標3「緑の多様な機能を学び、みんなで育む」や、基本目標4の「緑を豊かな暮らしとまちの実現に活かす」という点も、この事業に関連します。これらのことから、本事業はこの計画にもおいても重要な位置づけとなっていると考えます。

【審査】

① BT木の山 プレゼンテーション 9:30~

委員) 2点質問があります。1点目は花壇の数を今後増やすことは考えていますか。

2点目は上限25万満額まで申請することなく16万で申請している理由は何ですか。

→BT木の山) 活動できる範囲から考えると、これくらいの規模かなという感じではあります。茶屋の方に抜ける道の途中の花壇が現在少し短いので、もう少し長くして皆さんの目によくつくようにしたいと考えています。また、鴻ノ巣池のそばの花壇も小さめなのでそれを大きくしたいと考えています。ただ、他にどの場所に作ろうかという話は、まだメンバーと詰めていないので、今後増やしていきたいと考えています。

委員) 市境はどのあたりか。

→BT木の山) 地図にて説明

委員) 前回の提案の時に、散水するのが大変という話が出ていましたが、今回ホースを購入するための経費が計上されていますが、その後花壇をきれいに育成していくうえで、水やりの対策等はどのように考えているか。

→BT木の山) 散水につきましては、円通寺の付近の花壇にはホースに穴をあけたものを設置して水やりをやっています。大変なのは昔、火の見やぐらがあった場所の花壇は、その近くの協力者に水やりをお願いして水をかけてもらっていますが、そこにも散水ホースをこれから使って水やりをするべきかと考えています。愛知用水から水を引っ張ってきているところがありますが、散水ホースの穴が土ですぐ詰まってしまうので、それをきれいにしようとしても上手くいかないため、詰まってしまうとまた購入、というような形での対応を今後考えていこうと思っています。水代は愛知用水を利用させてもらっているのを助かっています。

委員) これだけ立派なものを作られたのに、BT木の山さんが大府市の緑花応援事業でやってますよ、という看板はつけられないのか。

→BT木の山) 看板は出していません。以前にも同じような助言をいただいたのですが、実際にどのような看板にしたら良いのか分かりませんでした。また、車で走っている人から見えるようにするには、結構大きなものにしなければいけない、ということもあります。今までにも考えていたのですが。

委員) 市境の部分なので、せっかくBT木の山さんが一生懸命やられているのに、緑区の人がやられたのかな、と思われては意味がないと思います。看板の費用を予算の中に入れてみては、と思います。せっかく花壇の花がきれいに咲いているのに、どこの人がやっているんだろう、と思われるよりは、まずは手作りでもいいのでやってみてはどうかと思います。予算のことだけではなくて、今後のことを踏まえてやられたらと思います。

→BT木の山) ありがとうございます。参考にさせていただきます。適切な回答かわかりませんが、木の山工場団地の名古屋側から来ると市境にモニュメントを設置されており、ここからが大府市ということが分かるようになっていきます。それと同様の役割になるのかなと感じました。

委員) 3頁目に役員のメンバーが記載されているが、実際にどのくらいの規模の方がこの活動自体に参加されているのか。また、メンバーは固定的となっているか。

→BT木の山) 6月の活動と11月の活動を合わせると、15人程度集まってもらっている。自治会からの働きかけで集まっているが、概ね固定的な人たちが集まって参加している状況です。それをもう少し増やしたいと思っている。

委員) 今年のお取組で、新たなメンバーが参加できるような、他の市民に広げるといった意味での企画や取組をお考えになっているか。

→BT木の山) 子ども会が理解があるかもしれないので、自治区を通じて子ども会に声をかけてみようと思います。老人クラブは高齢化で皆さんなかなか決まったときに出て来られないということ

もあります。

委員) 看板の設置という話がありましたが、地域の方にもBT木の山さんの取組というものがなかなか周知されていないのかなと感じます。住民みんなでやっているんですよ、というPRも兼ねてニュースレター等で地域の皆さんに情報発信していただければと思います。人を増やすためにはまずは知ってもらうことが大事だと思いますので、ぜひ引き続き活動いただければと思います。

→BT木の山) 努めてまいります。ありがとうございます。

② 花まるOBU プレゼンテーション 9:50~

委員) 推進体制やメンバーは、どのような状況ですか。

→花まるOBU) 現在、大府コミュニティや知多半島ハナモモの会、北山コミュニティなど11団体で約450名程度。

委員) 具体的な連携や役割分担、手順などが分かりにくいのですが。

→花まるOBU) 商工会議所の下部組織として活動している。

委員) 苗木を育てられている方はどの組織か。

→花まるOBU) 知多半島ハナモモの会のメンバーで、東浦でハナモモを育てており、無償提供いただいている。

委員) 補助対象の1本700円と記載あるがこれはハナモモか？

→花まるOBU) ハナモモだが無料ではいけないので、安い値段で購入している。工事費は県の補助金を併せて使っている。

③ 大府コミュニティ推進協議会 プレゼンテーション 10:15~

大府コミュ) 事業が途切れないように補助の継続をお願いしたい。提案型の事業は昔は10件くらいの応募があったが、今回は3件。だんだん減ってきているということとを考慮したやり方をしないと、従来通りのやり方では提案型ができなくなってしまうと思う。

委員) 提案型事業に対する貴重なご指摘ありがとうございました。事業のあり方については、緑の基本計画の施策体系にも関連することを市も考えていることであると思うので、団体が発言された貴重なご意見は、推進委員会として承ります。昨年度、実施できなかったことについて事務局からご説明願います。

事務局) 昨年度は、緊急事態宣言が急に始まったということで、色々なものが中止になった。特に感染のリスクがあるものについては中止という話もあったので、提案型事業についても急遽中止という判断となりました。駅前の緑化等はやらなくていいものではなく、やはり大府市としても景観として非常に大切なものと考えている為、ぜひやっていただきたいと思います。補助があるだろうと思っていたが、急に中止になる、ということは今後ないようにしたいと思います。提案型事業のもともとの成り立ちですが、なぜこのような提案の方式を採用しているかと言いますと、提案した中で本当に市の利益となるか、公共性がどの程度あるか、コミュニティが育まれるか、というような観点で評価をしていただいて、その評価に応じた割合で交付している事業です。この提案型事業に乗せることが相応しいのかという点でも1つ議論があるかと思っています。また、提案型に手が上がる数が減ってきている課題もあります。緑化については、毎年毎年花の苗を買うお金が必要となる。提案型のあり方を含めて、ご意見を今後に生かしていきたいと思います。今後ともより良い形でやっていけるように我々も頑張っていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

委員) この補助が上限25万円ということですが、プラスアルファの支出で賄えるということでしょうか。

→事務局) その通りです。

委員) そのほか質問はありますか。

→特になし。

(3) 緑花推進応援プロジェクトの審査結果について

事務局より、緑花推進応援プロジェクトの審査結果の発表。結果は以下のとおり。

● 点数

- ・BT木の山 75点
- ・花まるOBUプロジェクト 82点
- ・大府コミュニティ推進協議会 80点

→ 全ての団体への交付を決定。

● 交付決定金額

- ・BT木の山 152,000円
- ・花まるOBUプロジェクト 250,000円
- ・大府コミュニティ推進協議会 250,000円

5. 報告事項

(1) シビックガーデンコンテストの結果について

事務局から審査結果等概要の説明

(2) 平成の花咲か爺さんの映像について

事務局から概要の説明

6. その他

事務局) 次回の開催予定を説明。

委員) 来年度の開催に向けて、市民協働の観点から検討を進めていきたいと思ひます。

(水と緑の部長 挨拶)

—以上—